「iPad が我が家にやってきた^^」

拝復　二週間のご無沙汰でした。「iPad」、ニュース等でも盛んに取り上げられています。先週の土曜日、私は「人間ドック」の手続きのために近所のクリニックを訪ねました。そのとき、待合室で iPad でニュースサイトを見ていたのですが、看護婦さんが「あっ、これ、例のアイパッドって言うんですか？」。およそ普段は PC もやっていなさそう^^。さらに、その看護婦さんから聞いたのか、院長先生まで（笑)。実際に先行発売の米国では手術の際にあらかじめ撮っておいた「CT」や「MRI」の映像を取り込んだ iPad が使われています。もし、患者さんが心臓ペースメーカーを使っていたらどうするんだ、と、突っ込みたくなりますが、そんな馬鹿なことはないでしょう。

そうなんです。我が家にも「iPad」が到着しました。5 月 28 日（金)。自宅に戻ると小さなダンボールが 4 つ。「本体」「保護カバー」「自宅用電源」「iPad 用外付けキーボード」、開梱ももどかしく、すぐに開けてみました。「美しい」しばらく見とれていました^^;。箱がまた美しい。

←Apple の製品はデザインが本当に優れています。なんと箱まで

あらかじめお断りしておきますが、当原稿は「iPad」の技術的な側面でも、使いこなしのテクニックでもありません。どこにでもいる IT 素人が初 iPad に触れた、ゆるい日記です。今回は肩の力を抜いてゆっくりとお読みください（今日は経済の話もしません)（笑)。

アップルらしいのですが、取扱説明書がどこにも入っていない。もちろん iPhone や iPod Touch を使っている人ならすぐに分かるでしょうが、まぁ少々不親切。私は iPod Touch のときに経験

本屋で山積みになっています。でもこれがないとすごい時間がかかる(T_T)→

済みでしたので、「iPad スターティングガイド」

を購入してあらかじめ勉強をしておりました。しかし、家に帰ったときに気づいたのですが、その本を会社に忘れてきていました（おバカ)。かくして、マニュアル抜きで取り組むことに。スイッチを入れるとお馴染みのリンゴマーク。で次に現れる画面が iTunes へつなげという画面（ここにも一言も書いていません)。

←本当にこの画面だけ！どんだけ優れているのだ！

←これだけ。ところが自宅の PC には iTunes をインストールしていなか

ったので、まずはそれから。20 分ほどかけてようやくインストール。さらに、PC と iPad をつなげて、ようやくスタート画面が出てきました。

←何事もなかったように始まる^^

すべてはここから始まります。Wi－Fi 端末に電源をいれ、いざ。ところがいくら何をやってもネットにつながらないのです。一端、この時点でギブアップ。

翌日会社に休日出勤^^:。マニュアル本と取り組むのですが、それでもダメ。二時間ほど格闘してようやく気がつきました。**Wi－Fi 端末の接続がマニュアルになっていました(T_T)。**これじゃつながりません。オートにした途端、すべてが流れるように動き出しました。一連の設定を終え（これもとても簡単です)、私の iPad 生活がスタートしました。

まず最初に iTunes にアクセスをし、斉藤和義さんの「ずっと好きだった」の PV をゲット。これ多分 YouTube でも見られると思いますが、ビートルズの「Let it be」のビルの屋上での演奏風景を忠実に再現しています。どこまでが冗談なのか分からないほどよくできています。http://www.youtube.com/watch?v=vvFrFTIFDFA　ジョン･レノン役はあのリリー･フランキーさん。ジョージ･ハリソン役は二丁拳銃の小堀さん（私はよく知りませんが）完璧です。

エアキーボード、ちょっとコツがいります→

いくつかの特徴のひとつソフトウエア･キーボード。日ごろからブラインドタッチをしています。ところが iPad のソフトウエア･キーボードは指が接触するとそのキーを打ってしまいます。日ごろのホーム･ポジションが使えないのです。これはちょっと慣れるのが大変かもしれません。会社では keyboard dock を購入しましたので平気なのですが、まさかこの dock を外出時に持っていくわけにもいきません。やってみた感想としては「ケータイの親指入力よりはましかな」（私はあれが苦手です^^;　)。それにしても、アップルの変換は、Windows IME よりもはるかに賢い感じがします。私のブログに誤変換が多いわけが分かりました^^。メイン PC もアップルに変えちゃおうかな^^。

これは素晴らしい。iPad を購入する際、お勧めです→

さてお次は持った感じですが、いわれているほどの重さは感じません。680 グラム。ノートPC の約半分。ただ、どこにも出っ張っている部分がないのでしっかりと握らないと落下の危険が大きい。iPhone ならばストラップをつけられますが、さすがに iPad にストラップはないでし

小憎らしいくらいによくできています。出し入れがちょっと硬い→

ょう。で、買い求めました「iPad case」。これもいいです。ちょうどブックカバーのような存在ですが、これが結構よくできています。立てて使うときには

←映画を見るときなんかは立てて。　文字入力は少し傾けて使う→

こんな感じ。文字の入力をしたいときはこんな感じ

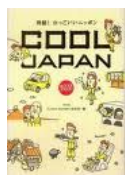
。少し斜めになってくれるほうが打ちやすい。

続いて「Apple store」へ。電子書籍を買いたいと思ったのですが、ほとんどが英語。京極夏彦さんの小説は売っているのですが、氏の本を読んだことがない私は断念。FT（Financial Times）が無料で配信されているので早速ゲット。ちょっと得をする「Gold」の記事を発見。なるほど消費税が上がるとき金を持っていると得をする、あわわ、また経済の話になりそうなのでこの辺で。しかし、非常にきれいで読みやすい。一面の横に「HUBLOT」（時計です）の広告、タップをすると画面いっぱいに「HUBLO BIG BANG」の写真が。美しい。絶対に買えないけれど、もし宝くじでも当たったら買おうと思っています。(ちなみにお安いものでたったの 150 万円！^^)

←デザインが素晴らしい。中国のコピーを買おうかどうか迷っています^^

私の腕にこいつがぶら下がっていたら宝くじが当たったと思ってください（笑)。

仕事に iPad を使うために「iWorks」を購入。う〜〜ん、どんどんアップルの売り上げに貢献している。前回の NL で電子書籍の特集をしましたが、アップルはプラットフォームのハードに関してはすでに出来上がっています。ただあまりにも日本語の本がない。これでは買いようがない。今後の iPad が電子書籍リーダーとして伸びるかどうかはこの問題にかかっていると思われます。無料でしたので雑誌、「東京カレンダー」をゲット。ページをめくる動作は実際に本のペ

ージをめくる感覚と近い。米国の IBook store をのぞくと、10 万冊以上の本がリストアップされている。この規模にならないと本格的な電子書籍の時代はやってこないでしょう。

←日本は製品輸出から、クールを輸出する国に　エコもね。

新聞、雑誌、マンガ　、本。この 4 つがバリアフリーに取り込める環境が整ったときに初めて電子書籍の時代と言うことができると思います。

　いくつか電子書籍が成功するための条件を考えてみました。

- 読みやすい　iPad はすでにクリアしている
- 誰でも使える　iPad でも多少のスキルは必要だが、子供ならすぐに分かる
- 情報の鮮度が高い　これはプラットフォームの問題　WEB と連動すれば問題はない
- 動画、音声配信とつながる　これは iPad の独壇場
- 本棚の容量が大きい　これは当面は iPad の容量だが、近日中にクラウドが対応する
- どこからでも買える　現在は３G が普及している範囲(ダメなら PC から取り込めばよい)
- 代金の回収が簡単（小口課金）　iTunes ですでに成功している
- 本の情報と人が結びつく　グルメ雑誌を見ていて「食べログ」につながる世界

こうしてみてみると、多くの条件はすでにクリアされているか、近日中にクリアできる。やはりあとは「電子書店」の品揃えに尽きるのである。

急にまじめな話になりました。久しぶりにメロメロになる商品に出会った。iPod に始めて触れたときの感動を思い出す。自分の好きなすべての音楽を毎日持ち続けられると言う驚きと感激。

懐かしいなぁ！何台ウォークマンを買っただろう（よく壊れた）→

また、その操作もきわめて簡単だった。ウォークマンを瞬間にしてマーケットからたたき出す力があった。iPad にはそのときの感激に近い機能とユーザビリティがある。

ま、小難しいことはともかく、一回触ってみてください^^;。別にアップルから宣伝費をもらっているわけではありません、念のため。

次回は 6 月中旬。もう梅雨入りでしょうか。相変わらず厳しい状況が続いています。何かありましたら声をかけてください。m(__)m。

株式会社アール・リサーチ　代表　柳本信一

〒271-0051　千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋３F

Tel 047-342-3181　mobile 090-7428-8999　mail： ryubon@kkd.biglobe.ne.jp

http://r-research.co.jp/　ブログ、毎日更新しています→http://rresearch.blog103.fc2.com/